

育連だより

編集・発行 川崎市青少年育成連盟
理事長 中島忠三

事務局
〒211 川崎市中原区上小田中6-22-5
エポックなかはら5階
電話 044-733-3951
印刷 西桜印刷株式会社

川崎市子ども会連盟 ボーイスカウト川崎地区協議会

川崎市青少年育成連盟

ガールスカウト川崎市連絡会 川崎海洋少年団

青少年行政を一本化

新理事長に中島氏 (川子連)

育連も新体制でスタート

昨年度まで青少年育成連盟は教育委員会の青少年教育課が所管していましたが、今年四月の行政組織改正に伴い、青少年行政が一元化されたことで旧民生局の青少年課とともに市民局に移管され、青少年育成課が所管課となりました。また、平成八年度第三回総会での連盟規約改正を受け、六月六日に開催された今年度第一回理事・評議員会において次のとおり新役員



新理事長 中島 忠三氏

キャンプ気分で大はしりやぎ

川子連・幸初の防災訓練

「自分のことはできる限り自分で守ろう」と、幸区子ども会連合会は、川崎ボランティアセンター協賛で八月十六日、十七日幸区古市場小学校々庭にて大地震発生を想定した一泊二日の自主防災訓練を行った。子ども会主催の防災訓練は川崎市内では初の試みです。訓練は午後九時〇一分幸地区に「マグニチュード」(M)8の大地震が発生した想定で、緊急時の情報連絡による、各地区長に



訓練に訪れた婦警官の話聞く子供たち

伝達した。避難場所は古市場小学校午後一時に集合、「自宅全壊」を想定で幸区内に住む小中学生の親子が協力して各地区から本部会場へ向い、避難参加名の受付をした。早速テント張り、炊き出し等の説明を聞き地区ごとの親子グループ別でテントを張る、夏休みの思い出として参加した子どもたちはキャンプ気分で大はしりやぎ、また、目をかがやかせながら狭いテントを固定するなど、大人たちの仕事を必死に手伝っていた。テントの設置が終わる、参加者の確認に入り幸区六地区からの親子計約百人が参加された。また、幸区長始め消防署長、警察署員、県市議員、関係者も多く来賓のご参加を頂き盛況な開村式が行なわれました。それから非常食のアルファ米で夕食後、アニメ映画、キャンプファイヤー、花火大会などの催しで親睦を深めた。仲間の子どもたちは宿泊テント内に楽しいよ、と、はしりやぎテントに入る、夜になると急に気温が下がりが毛布が必要な気温になったので夜通し交代で巡回、子どもたちの安全面と健康管理に配慮は忘れない一夜を過ごしました。翌日、朝のついでラジオ体操と、朝食が終わる幸消防署員による消化器の訓練と(ぐらぐらっち)起震車の体験をして最後に参加者全員で十七張りのテントを片付けた。本部役員から非常食(カンパン)ノート等の参加用品をもらい皆さん元気で解散した。これで幸区子ども会連合会の第一回自主防災訓練が無事盛況に終わりました。皆様のご支援・ご協力ありがとうございました。事務局 上原 千雄

議員会において次のとおり新役員

存じます。

平成九年度川崎市青少年育成連盟の理事長に就任いたしました川崎市子ども会連盟の中島でございます。就任にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

皆様ご承知のように、川崎市青少年育成連盟は昨年五十周年を迎えました。この間、歴代の教育委員長さんや理事長として、多くの皆様のご指導のもとに本連盟は川崎市の青少年の育成に大きな貢献をしてまいりました。ここに改めて、本連盟の活動にご尽力賜りました諸先輩の方々に感謝申し上げます。

共に考えよう

青少年の健全育成

理事長 中島忠三

ともに川崎市を代表する青少年育成の民間連合団体となったわけでございます。

現在、子ども達を取り巻く社会環境は必ずしも良いものとは言えません。それに少子化の傾向もま

すまず進展しております。私はこのような状況を見る時、本連盟に課せられた課題は極めて大きいものがあると考えております。

私はこれら青少年をめぐる諸問題について連盟の皆様とともに考え、次代を担う青少年の健全育成に努力してまいります。

16ヶ団のチビッコ大集合

BS ビーバー祭りおわる

第八回ビーバー祭りが、七月十七日(日)住吉小学校体育館において実施されました。今回の参加人数はスカウト一五〇名、リーダー、奉仕隊四八名、父兄六〇名で総数二五八名でした。実行委員長は五十五回坂本ビーバー隊長が務めました。

ビーバー祭りのプログラムの内容については毎年頭を悩ませるのですが、結果的には今回も盛況でスカウト達も楽しんでくれました。その要因としては、学校の運動会と違って、全ての種目に出場できるという魅力があるからだと思えます。ビーバー祭りは、地区野行委員会及び各団ビーバー隊指



を理解し、日々活動の協力を得るためのよき機会となりま

初めは遠慮がちの応援が、そのうちを忘れて自分たちのチームを応援しており、ボーイスカウト活動の良き理解者、協力者としての隊だけでなく、多くの仲間がいることを認識します。ビーバー祭りは、皆さんが楽しんでくれば勝ち負けは関係ない、と隊長達は云っているが、いざ本番となれば各チーム立立ちとなって応援する姿はおかしくもあり、素晴らしいものです。

ビーバー祭りは、単なるゲームや競技でなくボーイスカウト活動をより向上させるのに大きく貢献しております。多くの方々の協力でビーバー祭りが成功裡に実施されたことを感謝するとともに、来年も楽しんで行なわれることを期待します。

川崎22回 伊藤市太郎

開催

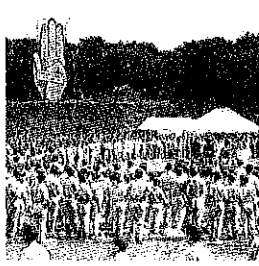
神奈川

第11回

朝霧で燃えた5日間 川崎から190名が参加

8月8日(金)、日がつぶらり暮れた午後7時、富士山の西山麓に広がる広大な朝霧高原の中のイベント広場で、第十二回神奈川キャンプボリーの閉会式が周囲の静けさをつき破るようなファンファーレで幕を開け、高橋幸夫大会長が力強く開会宣言を行いました。

今回は、日本連盟創立七十五周年・神奈川スカウト運動発展五十年を記念して、七年ぶりに開催されました。県内のボーイスカウト・シニアスカウト・リーダー合わせて約二千名が川崎地区からは一九〇名が参加しま



し、今年、私たち17団が選んだのは、長野県の戸隠にあるガールスカウト戸隠キャンプ場です。ここは名前の示す通り、ガールスカウトのためのキャンプ場です。最近のアウトドアブームで施設の整ったキャンプ場や心な人々による環境や景観の無視されたキャンプ場が多くある中、ここは美しい自然を多く残し、できるだけそのままの状態を保とうとしている素晴らしいキャンプ場です。

「ガールスカウトなら一度は戸隠に行ってみなさい。」私もスカウトの頃からリーダー達にこう言われてきたのですが、残念なことになり、一度も戸隠を経験することになりませんでした。戸隠キャンプ場は、二

年後に改築工事のため閉鎖されてしま

側ってどっち?」「風はどっちから吹いている?」とスカウト達はかなり苦戦しながらも4日間生活する場所を決めていきました。もちろん食事も自分たちで。火がおこせずなかなか食事にならないパトロールもあれば、食べている最中にテールが倒れてしまうことも

ありました。最後の夜にキャンプファイヤーは、中でも一番盛り上がりしました。ガールスカウトのキャンプ場だけあって他県からも多くの団が来ていたのですが、私たちは千葉5団と合同でファイヤーを行いました。

忙しい現代の生活の中で、ガールスカウト活動も徐々に変化してきています。いろいろな意味でも戸隠でのキャンプは、スカウトテイ

で、大警火、聖火台の友情の火より採火し、常火台に点火された火のもとで、川崎地区をトップに各地区の出し物が披露されました。引き続き、閉会式に移り、カ

キャンプ前の6月、ガールスカウト連絡会でリーダー対象に2回、研修会が行われました。

1回目は晴天に恵まれた一日、川崎市黒川野外活動センターに於て開催されました。ガールスカウト神奈川県支部主催の為、支部から四名のトレーナーが講師として

「楽しいキャンプ生活」、「野外活動の楽しみ」について学びました。それぞれ七、八人ずつのバトリールに分かれて、テントについての説明の後、家庭テントに慣れているリーダー達は色々な型のテントの張り方、たたみ方、まだ慣れていないリーダー達は家庭テントの張り方、たたみ方の練習をしました。キャンプでスカウト達に

「ドリドルとは」を話し合う 札幌子ども会大会

1日目から天気が危ぶまれていたが、2日目からみると雨。手稲山ハイキングは中止、雨プロ実行の話によると、ハイキング下見中に熊が出たらしい、急遽熊が出た時のプログラム「熊プロ」が作られたそうだ。雨プロは、宿舎内

ポイントラリー、ポイントにはゲームもデイスカッションもありデイスカッションでは「リーダーとはなにか」を話し合った。

3日目も雨。雨天法市内内ワーカーリー北海道にしかない事、物をたくさん見つけた。夜は雨の中

ではものすごく泣いた。でもまた会うね。手稲山をバスで下りると下界は晴れていたが、気分も一緒に晴れてはくせなかった。

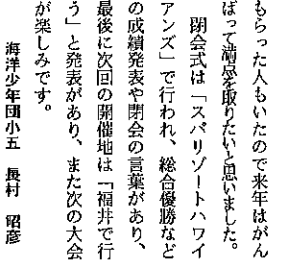
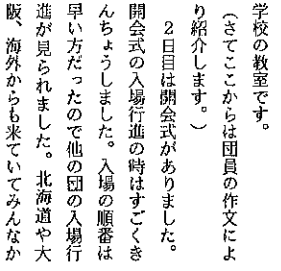
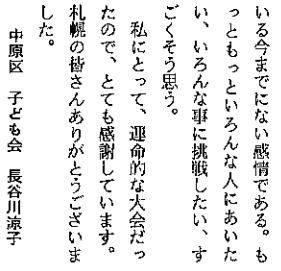
大会が終わって2ヶ月絶対に忘れないあとき話し合った事、思い感じたことを心に記している。

8月2日より3泊4日で福島県いわき市小名浜において2千人の海洋少年団員が集い、第43回全国大会が開催されました。JR川崎駅に集合し、東京駅から高尾バスを使い、いわき市に向けて出発しました。宿泊場所は小名浜第一小学校の教室です。

いわき市に全国から 今年の海洋少年団大会

3日目の朝手旗の受信競技がありました。送信者が台の上に登るとうまく読めるかどうか不安になってきました。「興味」の方は自信があったのに2文字もまちがえてしまいました。手旗技能章をもらった人もいたので来年はがんばって頑張りたいと思います。

閉会式は「スパリゾートハワイアンズ」で行われ、総合優勝などの成績発表や閉会の言葉があり、最後に次回の開催地は「福井で行う」と発表があり、また次の大会が楽しみです。



他県とも賑やかに交流 GS戸隠での夏キャンプ

した。副団委員長を務める黒船の君と姫の燃えあがる恋の炎でファイヤーに火がつくというアイデアは大成功で、その後に続くスタンツやゲームもとても盛り上がりまし

中野区 子ども会 長谷川涼子

野外活動と
救急法をテーマ
GSのリーダー研修

ません。真剣にリーダー達はメモを取ったりしていました。その後はキャンプクラフトを勉強し、いよいよ一番楽しみにしていた野外炊事による昼食です。自分達の作ったものにトレーナーや委員の方達が作って下さった、竹で炊いたご飯、スモークしたチーズ、

海洋少年団小五 長村 昭彦